

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
 電話 44-3006
 FAX 44-3029

大宜味中学生が大活躍!! 九州大会出場決定!!

水泳女子 50m、100m 自由形に花城綾姫さん



ソフトテニス個人戦 青木涼世、嵩原咲輝ペア



7月12日～13日に行われた第56回沖縄県中学校水泳競技大会において、大宜味中2年の花城綾姫さんが50m自由形、100m自由形ともに2位に輝き、8月6日～8日に福岡県で行われる第42回九州中学校水泳競技大会出場の切符を手に入れました。

小学1年の時に水泳を始め、放課後は名護のプール行き、練習に励む綾姫さん。週に6日の練習で土曜日や夏休みは1回1時間45分の練習を2回行っているそうです。「九州大会では8位以内を目指して頑張りたい。」と意気込みを話してくれました。

7月21日～23日に県総合運動公園で行われた沖縄県中体連総合体育大会ソフトテニス大会に、大宜味中学校のソフトテニス部が団体戦、個人戦に出場。

団体戦には男子名嘉翔也（塩屋）、嵩原久広（喜如嘉）、仲原広大（田嘉里）、稲福蓮音（喜如嘉）、宮城龍樹（塩屋）、山城樹（謝名城）が、女子は稲福珠音、福地楽、青木涼世、嵩原咲輝、福地嬉楽璃、山城願（女子はすべて喜如嘉）が出場し、男子3位、女子4位の好成績を収めました。

個人戦には男女とも2ペアずつ出場。男子は惜しくも予選敗退となりましたが、女子の青木涼世（2年）・嵩原咲輝（1年）ペアが3位となり8月9日、10日に大分県で行われる九州大会の出場権を獲得しました。

W杯は終わったけれど、Wの戦いはまだ始まったばかりじゃないか…

平成 26 年度わんぱく体験団 第2弾「田嘉里川の生きものをつかまえて観察しよう part4」

7月5日（土）、わんぱく体験団第2弾「田嘉里川の生きものをつかまえて観察しよう Part4」が行われました。平成 23 年度から始めたこの企画も今回で4回目。田嘉里川にはどんな生きものが住んでいるのか？どれくらいいるのか？そして、捕まえるだけでは終わらない、その生きものをよく見て調べてオリジナルの図かんを作成します。4冊目となる図かんはどんな上等な仕上がりになるのか？？わんぱくたちの手にかかっています。

いざ、出陣！！



もちろん川遊びもしました



そこ、そこ、その辺



何かいたば？



お魚さん、出ておいで～



え～、僕としてはですわっ結構捕れた方だと思いますはいっ



形や模様をよく観察



貝発見！！



こっちの方がイキイキしてる！？



似てるものはいるかな？
まずは写真とにらめっこ

岩かげを見てみたり、石を裏返して見てみたり、カンと経験を活かして様々な場所を探します。時には潜って（ただ泳いでいるようにしか見えないけど…）エビやイブーを追いかけてました。約1時間、捕獲を頑張ってくれたわんぱくたちには川遊びも楽しめました（こっちがメインかって言うくらい）。

公民館に戻ったら今度は図かんづくり。捕まえてきた生きものと本を真剣な表情で見比べます。細かいところまで観察し、一人一人が渾身の1ページを作成。上等な図かんができる予感♪最後は捕獲結果のまとめもしました。みんなの頑張りのおかげで 167 匹の生きものを捕獲し、そのうち 20 種 125 匹の名前が判明しました。

歌声で元気に！！ 塩屋小、中山会と一緒にモーニングコンサート

7月10日（木）、塩屋小学校で塩屋の中山会のみなさんを招き、モーニングコンサートが行われました。

中山会による塩屋情話（二見情話の替え歌）で幕開けされ、児童たちと一緒にハトポッコも歌いました。リボンやカチューシャで着飾った可愛い姿のおばあちゃんたち。塩屋応援歌では短パンに運動帽をつけ、元気に踊り始め、児童も先生方も驚くと共にそのパワーを分けてもらいました。

児童からは1、2年は踊りながら「ドレミのうた」と「手のひらを太陽に」を合唱。3、4年生リコーダーの演奏と歌をマッチさせた「とんび」と「届けようこの夢」を披露。5、6年生は打楽器や木琴なども加わった合奏の「ラバズコンチェルト」、「翼をください」の合唱をしました。

最後は、児童と中山会のみなさんが一緒に輪になって「えんどうの花」を歌い体育館いっぱいに元気な歌声が流れました。



コンサートを終え、2年生の志良堂世奈くんは「いつものコンサートより面白かった。また一緒に歌いたいと思った。」と話してくれました。

プロも顔負け…今年も大収穫！！ 津波小、スイカ収穫



立派なスイカができました♪

交通少年団とならび、津波小学校で伝統となっているスイカの栽培活動。7月7日（月）、収穫作業が行われました。4月中旬に苗を植え付け、水やりを精を出した児童たち。梅雨時期は雨の力も借りました。今年度は梅雨が長く、雨が多かったため着果率が低くなるかもしれない心配もありましたが、昨年と同様に 100 玉近くのスイカが収穫されました。

立派なスイカができました♪ 収穫したスイカは給食の時に食べたり、各家も持ち帰りました。また、交通少年団の見守りや三線の指導をしてくれるボランティアの方々、津波区老人会、津波校区の区長さんたちなど日頃学校の活動に支援してくれている方々にも感謝の気持ちを込めて贈呈しました。教育委員会でもご相伴にあずかりましたが、売り物とも引けをとらないとても甘いスイカで、あっという間になくなってしまいました。村の特産品になる日も近いかも？



終業式にはスイカ割りもしました

大会新記録

(トラックの部)

- ★ 100m 走 小学5年男子 平良 悠翔 (喜如嘉) 14秒78
- ★ 100m 走 小学5年男子 比嘉 銀二 (喜如嘉) 15秒02
- ★ 100m 走 小学2年女子 福地美楽惟 (喜如嘉) 17秒33
- ★ 100m 走 小学4年女子 宮城 梨琉 (塩屋) 15秒88
- ★ 100m 走 中学2年女子 花城 綾姫 (津波) 14秒47

(フィールドの部)

- ★ 走高跳 中学2年女子 花城 綾姫 (津波) 1m20cm

大会記録 (タイ記録)

(トラックの部)

- ★ 100m 走 小学5年男子 上原 風輝 (喜如嘉) 15秒20



銀二君 悠翔君



美楽惟さん



梨琉さん



綾姫さん

第11回 元気、おおぎみリクジョっ子大会

6月28日(土)、第11回 元気！おおぎみ リクジョっ子大会が開催されました。

梅雨も明け、すっかり夏の空気(暑くてジトジト(-_-))。

にも関わらず…

この日のために練習を積み重ねた子どもたちは暑さに負けることなく、それぞれの力を十二分に発揮。今年も大会記録が更新され、6つの大会新記録が出ました!!



津波校区 琉磨君、舞さんの元気な選手宣誓で開始!!



苦しい長距離… 暑さに耐えてよく頑張った!!



跳べ!

より高く…



シュワツキ



飛ばせ!



より遠くまで



きれいなフォーム

駆け抜けろ!



誰よりも速く



繋げ!

ちょっと緊張…表彰台♪



初めてのリクジョっ子 1年生も頑張りました!!



ゴール直前の接戦!!



接戦かと思われた今大会でしたが、男子の部、女子の部ともに1位、総合では2位と50点以上の差をつけて喜如嘉校区が3連覇を果たしました!!

子どもたちが実力を発揮できたのも大会役員を始め、保護者、先生、地域の方々の協力・応援があったからです。みなさんのおかげで今大会も無事終わることができました。ありがとうございました。

3連覇達成!! おめでとう!!



琉大生の生活を探る…学生の案内で学内を探索 琉大オープンキャンパス



7月19日（土）、平成26年度学推キャリア教育部会の視察研修会が行われ、琉球大学のオープンキャンパスに村内の幼稚園生1名、小学生14名と辺土名高校生2名が参加しました。今年からは26日から始まるわくわくチャレンジサタデーに参加する琉大生がグループごとに学内を案内。図書館や食堂なども回り、勉強だけでなく学生生活を教えてもらいました。午後には大城貞俊先生、辻雄二先生のお話もあり、貞俊先生

は「大宜味村には“人材を以て資源と為す”という素晴らしい村是がある。これには人を育てて資源とするという意味がある。世界に役立つような人になるために①目標を持つこと、②仲間を持つこと、③親孝行をすることが大切」と語ってくれました。



食堂でのランチを楽しんだ後は、学内にある風樹館を見学。ジュゴンの骨に触ってみたり、たくさんの標本を見たりして普段はなかなかできない貴重な体験をしてきました。

いっぱい学んでいっぱい遊ぼう!! わくわくチャレンジサタデー開始



7月26日（土）、村第2会議室において「学び舎あじまあ」のわくわくチャレンジサタデーが始まりました。これは将来先生を目指す琉大生たちが毎週土曜日に子どもたちと一緒に勉強をしたり、運動をしたりして過ごし、「子どもたちが楽しく自発的な学習活動に取り組むこと」、「子どもたち同士の学び合い」、「子どもたちの居場所をつくり、自己肯定感を育む活動」を支援するあじまあプロジェクトの一つです。

初日となったこの日は午前中に幼稚園生1名、小学生10名、午後には中学生5名が集まり、夏休みの宿題をみてもらったり、苦手な科目を教えてもらったり、外に出て一緒に遊んだりして楽しい時間を過ごしました。

わくわくチャレンジサタデーでは随時参加を募集しています。

申し込みはしていないけれど、やってみたいと思ったら、土曜日、役場の第2会議室に来てみてください。午前中（9時～12時）は小学生教室、午後（2時～5時）は中高生教室となっています。

夏休みの終わり（8月20日～25日）には、どきどきサマーホリデーもあるので、こちらにも参加してみてください。詳しい内容については教育委員会までお問い合わせください。



ポイントは髪の毛のキラキラです



私たち、週末（休む）アイドル



さすが先輩、きまってる～



喜如嘉と言えば、やっぱりぶながや太鼓でしょ



可愛さだったら負けないわ



面白さだったら…

喜如嘉保育所 第34回ぶながや夕すずみ会



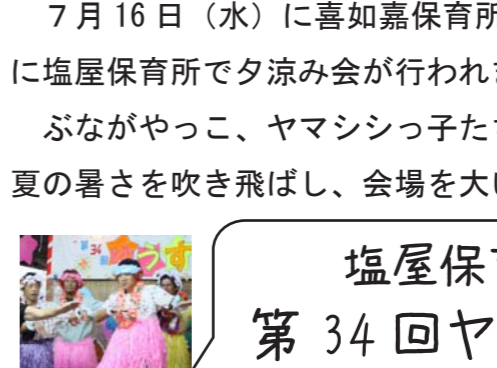
夕涼み会、はじまるよ～



一番かわいい私たち♪



かわいいウリ坊たち



7月16日（水）に喜如嘉保育所、18日（金）に塩屋保育所で夕涼み会が行われました。

ぶながやっこ、ヤマシシっ子たちの元気いっぱいの踊りやゆうぎで、夏の暑さを吹き飛ばし、会場を大いに沸かせてくれました。



塩屋保育所 第34回ヤマシシっ子夕涼み会



大きいヤマシシがいる…

本日のテーマは自由です



力強いヤマシシ太鼓



私たち、子どもAKB



ドワーチユイムニー（独り言）

友寄景善

村内初、と思う打ち上げ花火は、第一回青年夏まつりの時、大宜味小学校向かいの浜辺から打ち上げられた。三発だと記憶しているが、もう少し多かったのでは、と言う人もおり、正確なことはわからない。初めて間近に見上げる花火に皆が歓声を上げた。一発の値段が数万円もした。青年会の予算では足りず、花火業者からのご厚意で上がったのでは。

最初のころの夏まつりは、青年会独自で企画運営し、青年会純粋の事業であった。村主催の夏まつりが青年会に十年遅れでスタートし、別々にまつりを実施していた。その後、青年会と村が合同で開催するようになり、まつり予算の増加や人的支援等もあり、規模も徐々に拡大し、村民夏まつりとして親しまれ、定着してきた。

打ち上げ花火の数は、大・小・連続花火を含めると、一千発にもなった。演出も素晴らしく、間近で見られることでも人気が高い。遠方からのファンも多い。花火業者も第一回まつりから同じ地元関係者である。予算に比して花火が豪華なので、「かなりサービスしているのでは？」と思うのは私一人ではないはずだ。

青年会が立ち上げた夏まつりは、大宜味小学校グラウンドから始まった。グラウンドの半分はまつり会場に、残り半分を駐車場に充てた。青年会のメンバーも多く、支部ごとの活動も活発であった。テントは各字から集め、やぐらも中央に自ら建てた。やぐらは壁がなく何処からでも見通せた。皆でそれを囲み、踊りに自信のある人がやぐらに登り模範踊りを見せた。皆はそれを見ながら、盆踊り定番の『オバQ音頭』、『炭坑節』等を踊り歌いながら、やぐらをゆっくりと回り続けた。浴衣を着た盆踊りが主体の夏まつりであった。

三発が一千発に、やぐらがステージに、ちようちんがスポットライトに、盆踊りがフラダンスやサンバに変化してきたが、まつりを終えた後の充実感は当時も今も変わらない。

今月の生きもの

ヤンバルテナガコガネ：コガネムシ科

ハイサイ♪僕はヤンバルテナガコガネ。日本最大の甲虫なんだ。体長は6cm前後。名前通り手が長く、オスでは8cm～9cmあるんだ。イタジイやオキナワウラジロガシの大木のうろに生息し、約3年かけて育つ。1984年に新種として発見されて、もう30年も経つけど、僕についてはまだ謎なことが多く、どれくらい生息しているかもわからないんだ。みんなに会うことは滅多にないと思うけど、僕を見つけても捕まえたりしないよね。自然の中で悠々と活動するのが僕の本来の姿。カッコいいところなのさっ。

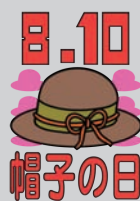


～編集後記～

夏休みが始まりました。羨ましいせ、子どもたち…。1か月くらいある休み。子どもの頃はどんな風に過ごしていたのか？全く、思い出せません。でも、夏休みの終わりに泣きながら読書感想文を書いていたことは覚えてる…。みなさん、宿題は早めに終わらせましょう！！

8月の行事予定

- 1日（金） 区長会 水泳教室
- 2日（土） 村夏祭り ～3日
- ESL キャンプ ～9日
- 8日（金） 旧盆（ウンケー）
- 9日（土） 旧盆（中日）
- 10日（日） 旧盆（ウークイ）
- 13日（水） わんぱく③キャンプ ～14日
- 15日（金） 終戦記念日・全国戦没者追悼式



- 17日（日） 国頭郡球格技大会
- 18日（月） 村教職員夏季体験講座 ～20日
- 20日（水） 塩屋湾のウンガミ（海神祭）
- 23日（土） 国頭郡バスケボール大会 ～24日
- 27日（水） 二学期始業式（幼・小・中）
- 28日（木） 短期留学報告会
- 30日（土） 第52回沖縄県スポーツ推進委員研究大会（国頭村・大宜味村・東村）～31日
- 国頭郡ゴルフ大会